

梅毒治療用ペニシリン G ベンザチン (Bicillin® L-A)

Penicillin G Benzathine (Bicillin® L-A)

For Treatment of Syphilis

長時間作用型ペニシリン G ベンザチン (Bicillin® L-A) は、梅毒の治療に推奨される抗生物質です。一回の来院で、左右の腰部または臀部（場所はどこでも可）に、2つに分けた一回分用量を筋肉注射で投与します。

早期梅毒の場合、バイシリン® L-A 240 万ユニット x 1 回が十分な用量となります。ただし、感染して一年以上、または感染期間が不明の場合は、3 回分用量が必要で、バイシリン® L-A 240 万ユニットを毎週一回、3 週間にわたって注射する必要があります。

アレルギー (Allergies)

- ペニシリンまたはセファロスポリンにアレルギー反応が出たことがある場合は、ご自身の医療提供者に伝えてください。
 - 例：ペニシリン VK、アモキシシリン (Amoxil®)
 - 例：セフィキシム (Suprax®)、セファレキシシン (Keflex®)、セファクロル (Ceclor®)

妊娠および授乳 (Pregnancy and Chest/Breastfeeding)

- 授乳している場合は、ご自身の医療提供者に相談してください。
- 妊娠中または授乳期間中に梅毒と診断された場合は、治療を受けることが非常に重要です。
- 妊娠後期に梅毒の治療を受ける場合は、特別に考慮しなくてはならない事項に関してご自身の医療提供者と話し合ってください。

注意 (Caution)

- **薬物相互作用**：薬物相互作用：個々の薬物の相互作用は、この文書には記載されなかったことにご注意ください。処方薬、非処方薬、ハーブ、またはレクリエーション薬物を服用している場合は、ご自身の医療提供者に相談してください。

治療後のケア (Care of Yourself After Treatment)

- バイシリン™-LA 注射後 15 分間はクリニックで待機してください。
- 治療後に反応が出た場合（発疹、痒み、呼吸困難など）は、スタッフに直ちに知らせてください。
- クリニックを出た後でこうした反応が出た場合は、すぐに緊急医療の助けを求めてください（911 に電話する、病院に行く、緊急医療センターに行くなど）。

副作用 (Side Effects)

- 注射部位に、一時的に軽い痛みがあるかもしれません。
- 治療後、下痢が起こることがあります。
- ヤーリッシュ・ヘルクスハイマー反応（発熱、悪寒、頭痛、または疲労感）が生じる人もいます。
 - ヤーリッシュ・ヘルクスハイマー反応は、初期梅毒の治療後数時間以内に起こる可能性のある一連の副作用です。この反応は、すべての人に起こるわけではありません。
 - これはアレルギー反応ではなく、通常 24 時間以内に収束しますので、心配しないようにしてください。
 - 必要に応じて、アセトアミノフェン (Tylenol®)、またはイブプロフェン (Advil®) を服用して症状を緩和してください。
 - 後期梅毒の治療後にこの反応が起こることは稀です。
- このような副作用が継続または悪化する場合は、ご自身の医療提供者に連絡してください。

梅毒の段階 (Stages of Syphilis)

- どのくらいの期間、体が梅毒に感染していたかにより、推奨される治療とフォローアップは異なります。感染した梅毒がどの段階なのか、またどのような治療が必要かについては、ご自身の医療提供者に確認してください。また、公衆衛生局の看護師から電話があり、パートナーのフォローアップやフォローアップ検査の推奨について話し合うこともあります（次ページの表を参照）。

ご質問または詳しい情報をご希望の場合は、www.smartsexresource.com にアクセスするか、またはご自身の医療提供者にご連絡ください。

梅毒：知っておくべきこと (SYPHILIS: WHAT TO KNOW)

<p style="text-align: center;">早期梅毒 (第一期、第二期、初期潜伏)</p>	<p style="text-align: center;">潜伏期間不明の潜伏梅毒 (LSUD) * および後期潜伏梅毒</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 性器または口内のヒリヒリ感または発疹のような症状がでる可能性。 ● 症状がまったくない場合でも、伝染の可能性がある。 ● 感染してからの期間：一年未満 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「隠れた」感染。症状はなく伝染の可能性は低い*が、治療しない場合は体に障害を起こす可能性がある。 ● 感染してからの期間：一年以上または期間不明 <p><i>*LSUD の感染期間が不明なため、伝染する場合もあれば、伝染しない場合もあります。</i></p>
<p>治療</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● バイシリン® L-A 240 万ユニット (筋肉内) x1 の用量 ● 一回の来院で、一回分用量を 2 つに分け、120 万ユニットずつを左右の腰部または臀部 (部位はどこでも可) に筋肉注射で投与。 ● 妊娠、HIV 共感染などの場合には、バイシリン LA® を一セット追加投与することがある。 ● ヒリヒリ感や発疹などがある場合、こうした梅毒の症状は 2~4 週間で消失するはずである。 ● この期間内で症状が消えない場合は、自身の医療提供者に受診すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● バイシリン® L-A 240 万ユニット (筋肉内) x3 セットの注射。週一回 (7 日間隔) 3 週間続けて投与。 ● 一回の来院で、一回分の用量を 2 つに分け、120 万ユニットずつを左右の腰部または臀部 (部位はどこでも可) に筋肉注射で投与。 ● 治療の完了 = 720 万ユニットを 3 週間かけて投与。
<p>パートナーへの通知およびフォローアップ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 診断または症状発生前 3 ヶ月間以内のすべての性交渉パートナーには、梅毒の検査と、感染している場合は治療が必要になります。 ● 診断または症状発生の 3 ヶ月以上前の性交渉パートナーには、検査が必要になる場合があります。 	<p>潜伏期間不明の潜伏梅毒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 診断または症状発生前 3 ヶ月間以内のすべての性交渉パートナーには、梅毒の検査と、感染している場合は治療が必要になります。 ● 診断前 3 ヶ月から 1 年の間の性交渉パートナーは、梅毒検査を受けるか、BC 州疾病管理センター

	<p>(BCCDC) 梅毒チームの推奨に従う必要があるのみです。</p>
	<p>後期潜在梅毒</p> <p>次の場合は、梅毒検査のみを受けることが推奨されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長期にわたるすべての性的接触。 • 妊娠中の親が後期潜伏梅毒と診断されている子供。
<p>特別な指示</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 治療後1週間（7日間）が経過するまでは、性行為を行ってはいけません。 • 治療を受けるべきときに受けていないパートナーと性行為をした場合は、医療提供者にその旨を伝えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> • 治療後1週間（7日間）が経過するまでは、性行為を行ってはいけません。 • 感染の治療と合併症の予防のために、3週間の治療を確実に完了することが非常に重要です。
<p>フォローアップの血液検査</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • フォローアップ検査の推奨事項については、ご自身の医療提供者と話し合ってください。 • その結果、ほとんどの人は、2年間にわたって3～6ヶ月ごとに梅毒検査を繰り返すこととなります。 • 注：治療が完了した後でも、梅毒 EIA スクリーニング検査の結果は通常、生涯にわたって陽性（反応性）と出ます。検査を受けるたびに、新たな感染症にかかっているかどうか、または追加の治療が必要かどうかを判断するために、検査室で2回目の検査が行われます。 • その時点で、ご自身の医療提供者が適切なアドバイスをします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 推奨されるフォローアップ検査については、最後の治療に来院した際に、ご自身の医療提供者と話し合ってください。 • その結果、ほとんどの人は、2年間にわたって3～6ヶ月ごとに梅毒検査を繰り返すこととなります。 • 注：治療が完了した後でも、梅毒 EIA スクリーニング検査の結果は通常、生涯にわたって陽性（反応性）と出ます。感染の完治を確認するため、追加の血液検査が行われます。